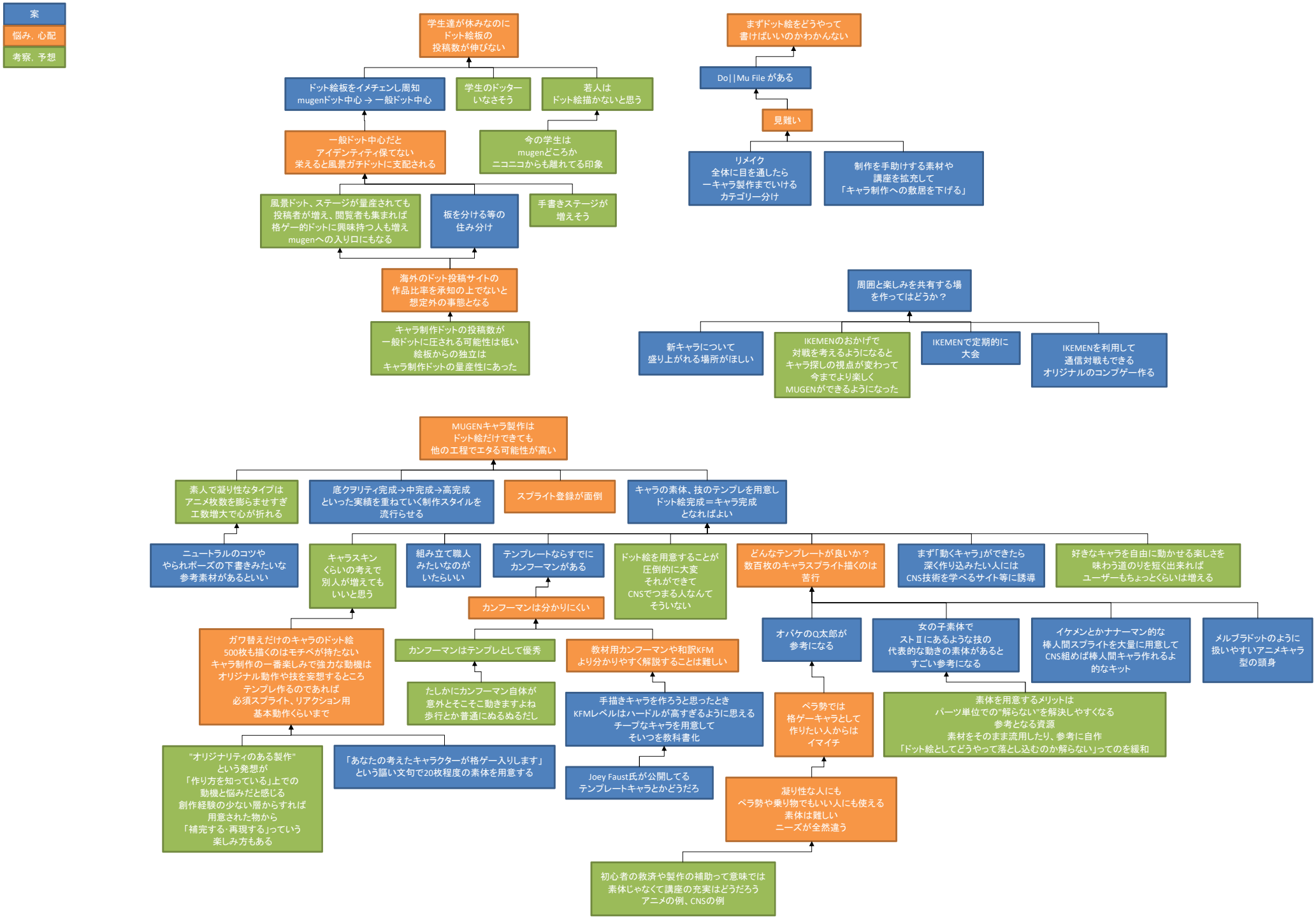
案
悩み，心配
考察，予想
学生達が休みなのに
ドット絵板の
投稿数が伸びない
ドット絵板をイメチェンし周知
mugenドット中心 → 一般ドット中心
学生のドッター
いなさそう
若人は
ドット絵描かないと思う
一般ドット中心だと
アイデンティティ保てない
栄えると風景ガチドットに支配される
今の学生は
mugenどころか
ニコニコからも離れてる印象
風景ドット、ステージが量産されても
投稿者が増え、閲覧者も集まれば
格ゲー的ドットに興味持つ人も増え
mugenへの入り口にもなる
板を分ける等の
住み分け
手書きステージが
増えそう
海外のドット投稿サイトの
作品比率を承知の上でないと
想定外の事態となる
キャラ制作ドットの投稿数が
一般ドットに圧される可能性は低い
絵板からの独立は
キャラ制作ドットの量産性にあった
まずドット絵をどうやって
書けばいいのかわかんない
Do||Mu File がある
見難い
リメイク
全体に目を通したら
ーキャラ製作までいける
カテゴリー分け
制作を手助けする素材や
講座を拡充して
「キャラ制作への敷居を下げる」
周囲と楽しみを共有する場
を作ってはどうか？
新キャラについて
盛り上がれる場所がほしい
IKEMENのおかげで
対戦を考えるようになると
キャラ探しの視点が変わって
今までより楽しく
MUGENができるようになった
IKEMENで定期的に
大会
IKEMENを利用して
通信対戦もできる
オリジナルのコンブゲー作る
MUGENキャラ製作は
ドット絵だけできても
他の工程でエタる可能性が高い
素人で凝り性なタイプは
アニメ枚数を膨らませすぎ
工数増大で心が折れる
底クヲリティ完成→中完成→高完成
といった実績を重ねていく制作スタイルを
流行らせる
スプライト登録が面倒
キャラの素体、技のテンプレを用意し
ドット絵完成＝キャラ完成
となればよい
ニュートラルのコツや
やられポーズの下書きみたいな
参考素材があるといい
キャラスキン
くらいの考えで
別人が増えても
いいと思う
組み立て職人
みたいなのが
いたらいい
テンプレートならすでに
カンフーマンがある
ドット絵を用意することが
圧倒的に大変
それができて
CNSでつまる人なんて
そういない
どんなテンプレートが良いか？
数百枚のキャラスプライト描くのは
苦行
まず「動くキャラ」ができたら
深く作り込みたい人には
CNS技術を学べるサイト等に誘導
好きなキャラを自由に動かせる楽しさを
味わう道のりを短く出来れば
ユーザーもちょっとくらいは増える
カンフーマンは分かりにくい
ガワ替えだけのキャラのドット絵
500枚も描くのはモチベが持たない
キャラ制作の一番楽しみで強力な動機は
オリジナル動作や技を妄想するところ
テンプレ作るのであれば
必須スプライト、リアクション用
基本動作くらいまで
カンフーマンはテンプレとして優秀
教材用カンフーマンや和訳KFM
より分かりやすく解説することは難しい
オバケのQ太郎が
参考になる
女の子素体で
ストⅡにあるような技の
代表的な動きの素体があると
すごい参考になる
イケメンとかナナーマン的な
棒人間スプライトを大量に用意して
CNS組めば棒人間キャラ作れるよ
的なキット
メルブラドットのように
扱いやすいアニメキャラ
型の頭身
たしかにカンフーマン自体が
意外とそこそこ動きますよね
歩行とか普通にぬるぬるだし
手描きキャラを作ろうと思ったとき
KFMレベルはハードルが高すぎるように思える
チープなキャラを用意して
そいつを教科書化
ペラ勢では
格ゲーキャラとして
作りたい人からは
イマイチ
素体を用意するメリットは
パーツ単位での"解らない"を解決しやすくなる
参考となる資源
素材をそのまま流用したり、参考に自作
「ドット絵としてどうやって落とし込むのか解らない」ってのを緩和
"オリジナリティのある製作"
という発想が
「作り方を知っている」上での
動機と悩みだと感じる
創作経験の少ない層からすれば
用意された物から
「補完する·再現する」っていう
楽しみ方もある
「あなたの考えたキャラクターが格ゲー入りします」
という謳い文句で20枚程度の素体を用意する
Joey Faust氏が公開してる
テンプレートキャラとかどうだろ
凝り性な人にも
ペラ勢や乗り物でもいい人にも使える
素体は難しい
ニーズが全然違う
初心者の救済や製作の補助って意味では
素体じゃなくて講座の充実はどうだろう
アニメの例、CNSの例